

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている				
	やや良く なっている	一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・ボージョレーヌーボアの航空便の過剰在庫を前出し するのが精一杯で、シャンパーニュ、スパークリング ワインの販売促進にまで手が回らなかったが、12月は 3か月前と比較して売上は増加している。	
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・入場者数がだんだん増加している。	
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・今月は前年と比較して、来客数の動きが良くなっ ている。	
	変わらない		商店街（代表 者）	競争相手の様子	・自店舗の動向は良いが、競合店の出店が相次いで いる。ただ、どこも決定打は持っていない。
			一般小売店〔生 花〕（経営者）	競争相手の様子	・年末の売出し期間中に雨が降ったことや、12月31日 が日曜日であったことから、かなり売上が減少してい る。他店をみてもかなり苦戦をしている。
			百貨店（営業担 当）	それ以外	・前年同月に比べ来客数は大幅な増加となったが、売 上高は若干の増加で推移している。衣料、雑貨、食 品、お歳暮などは、総じて前年割れとなる厳しい状態 である。
			スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価が下落し、それに伴い、買物点数も減少傾向 にある。必要な物以外は買わないという傾向になっ ている。
			スーパー（店 長）	それ以外	・ゆず、そばなどの冬至関係の商品の動きは例年並み かやや悪く、クリスマス関係の商品は例年並みであ り、お歳暮は例年より悪い。
			スーパー（財務 担当）	単価の動き	・依然として、消費者の価格に対する反応は厳しい が、最近、客の平均単価が徐々に上がっている。
			スーパー（統括 担当）	単価の動き	・来客数は前年比103%程度であるが、単価は96%程 度になっている。
			コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・売上高は3か月前と比較して、ほぼ横ばいで推移し ている。
			コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・11月は客の購入意欲がなく心配をしていたが、12月 は例年どおりのボーナスが支給されたこともあり、来 客数、客単価は例年並みの動きを取り戻している。し かし、今後もコンビニの競争は、ますます激しくなる ため、厳しい状況は変わらない。
			家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・暖冬の影響により、来客数が減少している。その中 で、テレビ、クリーナーなどの商品の販売量は前年よ り10%程度増加したが、その他の商品については軒並 み前年を下回っている。特に、パソコン、音響機器の 商品については、新製品待ちもあり、大幅に減少して いる。
			乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・先月に引き続き新車効果がなく、計画していた販売 量は確保できていない。それに加え、客が購入を決定 する期間が長引く傾向にある。
			乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・12月であるのに来客数は少なく、成約にいたるケー スも少ない。
			その他専門店 〔CD〕（店 員）	販売量の動き	・商品ジャンルにより、売れているものとそうでない ものがはっきり分かれているが、トータルで見ると前 年並みの結果になっている。
			一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・12月であるのに、宴会の予約が少ない。
			観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・今年の夏から良くなり始め、8～11月は順調であ った。12月は忘年会は良いが、宿泊関係があまり良くな く、横ばいである。
			タクシー運転手	単価の動き	・期待していたほどでもなく、単価も客数も伸び悩ん でいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は忘年会に期待していたが、週末の金・土曜日 のうち忙しい日は3日間だけで、平日は平常の月と変 わらず、前年の売上と比較すると25%低下している。	
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・3か月前と比べると、若干、売上は増加したが、前 年同月と比較すると横ばいである。平成18年度の年間 売上予想と昨年度の売上実績との比較でも0.5%程度 の微増でほとんど変化がない。	

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・長期の住宅ローン金利も大きく変わっていないため、客の動きに焦りも見られず、商談件数、受注量についても動きはあまりない。	
	その他住宅(住宅ローンセンター)	お客様の様子	・今までと同じく、景気が良くなったから、良くなるから商品の購入を考えたというのではなく、どうしても必要になったから購入することになったという客がほとんどであるため、景気にはほとんど変化がない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	それ以外	・まちづくり3法が改正されても、1万㎡以下の量販店の進出が止まらない。ここ1~2年にかけてオーバーストア現象の弊害がピークに達する可能性がある。	
	商店街(代表者)	来客数の動き	・12月の冬物商戦は前半は良かったが、後半は、売上が一番上昇する時期にかなり来客数が減少し、売上也悪くなっている。特にクリスマス前、冬休みになってから来客数の動きが悪く、暖冬の影響もあり、売上也かなり低下している。	
	一般小売店[乾物](店員)	販売量の動き	・お歳暮の売上がかなりのウェイトを占めているが、客がお歳暮をしなくなってきており、毎年、売上が減少している。	
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・暖冬の影響も大きいですが、衣料品だけでなく全般的に売上が低迷している。	
	スーパー(予算担当)	販売量の動き	・暖冬の影響で、コート・セーター類の販売量が伸びていない。また、クリスマス商戦もクリスマスイヴが日曜日のため、少し盛り上がり欠けている。	
	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・来客数は増加しているが、セール待ちの下見の客が多く、実売に結び付いていない。売上は前年同期比で約7%減少している。	
	衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・昨年は、気温が低く防寒衣料が売れたが、今年は高額商品は売れているが、暖冬であるため一般防寒衣料、特にレディースのジーンズの落ち込みが大きく、全体的に大きく足を引っ張っている。	
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新車の販売台数が、前年比でかなり減少している。	
	乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・10月と12月に新型車を発売したため、販売台数の増加を見込んでいたが、新型車の効果は全くない。	
	都市型ホテル(経営者)	来客数の動き	・館内のレストランでは、ノロウイルスの食中毒感染による外食を手控える動きに影響を受けている。	
		通信会社(支店長)	販売量の動き	・クリスマス、年末商戦において販売が低調である。
	設計事務所(職員)	競争相手の様子	・生き残りをかけた競争は依然として変わらないが、廃業する業者も現れており、年度末へ向けて、一段と受注環境が厳しくなっている。	
悪くなっている	一般小売店[酒類](経営者)	販売量の動き	・飲食店店主から、忘年会の予約状況が悪いとの声が聞かれる。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	通信業(営業担当)	それ以外	・年末のあいさつを兼ねて毎日、担当をしている客への訪問を続けているが、2~3年前に比べて今年は事務所に活気があり、マネージャー層と話していても、景気の良い話や来年に向けての話題が多く聞かれる。
	変わらない	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・西日本エリアでの建設用クレーンの高稼働に変化は見られない。年末に向けて稼働率は更に高くなる。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・今年の特徴は、東海地区を中心に関東から中国地区まで、自動車や鉄鋼関係の受注が堅調であったことである。
		輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・年末の荷動きにある程度期待していたが、動きが好調だったのは、3日程度だけであった。
		輸送業(役員)	受注量や販売量の動き	・取引先の設備投資などによる増産から、受注量が拡大に向かうことを期待しているが、勢いが感じられない。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の決算内容を見てみると、前年比でマイナスの企業が多く、試算表も、収入・利益共に伸びていない。	
やや悪くなっている	木材木製品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原料素材の高騰及び副資材の値上がり部分の単価への転嫁ができていない。年末年始を迎えて、受注量も落ち込んでいる。	

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年は、暮れになると工場が止まり、新設又は補修など設備の入替えがあるが、今年是非常に少ない。景気の良い会社でも、経費節減のために補修などしないため、非常に厳しい。	
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・競争激化のため、受注価格がますます低下している。	
	通信業（支店長）	それ以外	・販売数は伸びているものの、純増数が伸び悩んでいる。	
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注残高の前年割れが続いており、回復のめどが立たない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・通常の企業に加えて医療関連や有限会社などの小規模企業でもネット採用への理解が高まってきたため、やや受注が伸びている。
		求人情報誌製作会社（従業員）	周辺企業の様子	・新たな企業や商店、業種、業態の参入などの計画が聞こえてきており、雇用状況にも大いに刺激となっている。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・前年と比べると、求人数、求職者数共に横ばいである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・忘年会シーズンにもかかわらずタクシーの乗車率は悪く、町の人出も少ない。商店の売出しも、マス媒体を使って広範囲の客を獲得しようというよりもチラシなどエリアを限定できる媒体を使って経費を抑えている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数は前年比で増加しているものの、そのうち正規労働者の求人の割合は減少している。トータルで見ると、以前に比べてあまり変わっていない。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用者数は停滞とも言えないが、数字の伸びは遅々たる状態である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求職者は、先月よりも大幅に減少している。直接雇用の動きが正規、非正規共に増えてきており、派遣業界にとっては非常に厳しい状況である。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・採用者数が前年より2割程度減少している。
悪くなっている	-	-	-	-